

# 少連協ニュース

発行所 / 足立区少年団体連合協議会

〒120-8510 東京都足立区中央本町 1-17-1 足立区役所  
青少年課 青少年事業係

TEL 03-3880-5275 <http://www.a-shorenkyo.jp>

発行人 野辺 陽子  
編集 調査広報部  
大林 市川 小野田 高澤  
高橋 手塚 田中  
鈴木 川下 堀内



足立区  
少年団体連合協議会会長 野辺 陽子

## セロファンとリボン

学生時代、デパートの地下の酒売場でアルバイトをした時のこと。当時日本製のウイスキーでは高級品とされていた「ロイヤル」は、まず、セロファンで包んでから箱に入れ、包装紙で包むように指示されていた。過剰包装と思いつつも、セロファンに包まれたその酒瓶はたしかに輝いて見えたし、いやが上にも更なる高級感を漂わせていたことを覚えている。

リボンの魅力は言うまでもなく、華やかさとヴィヴィッドな感覚と、温かさ、そして愛を感じさせてくれた。セロファンとリボン、どちらもワンランク上の温かいプレゼントにしてくれる魔法の小物と信じている。少連協は、東北震災で多くのものを失った子ども達に早目のクリスマスプレゼントを贈る。セロファンに包み、リボンを結び、相馬市の小学生、2055名一人ひとりに。それには足立区中の子どもも会員から贈られた文房具をメッセーじカードにしたための励まし言葉も添えてある。文房具を大切に包んだセロファンとリボンが、少しでも私たちのまごころを高めて伝えてくれることを願っている。

# 平成二十三年度少連協総会開催される

六月四日(土)午後二時より、足立区役所十二階会議室において平成二十三年度足立区少年団体連合協議会の総会が開催されました。

山本副会長の司会進行で始まり、野辺会長からは「総会は一年間の総まとめの場です。活発な審議をお願いしたい」と挨拶がありました。その後、節電を呼びかける「うちわ」を出席者に渡し、更なる節電への協力をお願いしました。議長に元井総務部長、野口・大林両氏の書記のもと、平成二十二年度事業報告、各部活動報告及び



▲平成23年度少連協総会

決算報告、監査報告等が拍手で承認されました。その後、平成二十三年度の役員改選が審議され、野辺会長以下の役員候補が提案どおり承認されました。また、顧問・相談役の承認、平成二十三年度事業計画、予算案など十の議案が滞りなく可決、承認されました。

### 〈新役員紹介〉

会長 野辺 陽子(鹿浜)

副会長 山本 輝夫(淵江)

〃 加藤 俊二(第十六)

〃 鈴木 春男(扇)

〃 大林 英夫(第十一)

事務局長 山本 輝夫(淵江)

会計 日高佐和子(上沼田)

〃 鈴木 健治(鹿浜)

書記 野口 邦明(第七)

〃 小野田みよ子(舎人)

総務部長 元井 一壽(第十四)

調広部長 市川 元一(第三)

事業研修部長 清水 康弘(江北)

育成部長 辻村 宣明(保塚)

会計監事 山崎 金壽(第十)

〃 岩澤 明美(中川)

その後、新役員を代表して、野辺会長から挨拶があり、役員及び

常任理事を退任されたみなさんに感謝状を贈呈させていただきました。長い期間、地域の子ども会活動にご尽力いただき本当にありがとうございました。今後も、引き続きご協力をお願いいたします。最後に今年度の「がんばる地少協」助成金交付団体の報告があり、中川、新田、第十一、第十四、保塚、第四、蒲原の七地少協が選ばれ、加藤副会長の閉会の辞ですべての議事が終了しました。

引き続き三時三十分より十四階のピカールに会場を移し、懇親会が開催されました。

元井総務部長の司会で始まり、



▲近藤やよい区長



▲齋藤幸枝教育長



▲楽しく盛り上がった懇親会▲



区歌「わがまち足立」を斉唱した後、野辺会長の挨拶、ご来賓の近藤やよい区長、吉岡 茂区協議長にご挨拶いただき、ご来賓の紹介、齋藤幸枝教育長の乾杯へと進んでいきました。

乾杯後は、和やかな懇親の場へと変わり、各テーブルでは自己紹介や新年度の活動への期待や抱負に話題がおよびました。参加者一人ひとりの活動が地域の子どもの健全育成に繋がって行くのだとの思いを改めて確認する場になっているようでした。

●就任あいさつ

責任の重さ痛感 寶田信夫

私は去る四月の定期総会におきまして、中川地区少年団体協議会会長に選任されました寶田信夫です。

会長という大役を仰せつかり、恐縮するとともに、その責任の重さを痛感しています。

小久保 隆前会長は地少協のために日夜労を惜しまずご尽力され、中川地区育成会相互の親睦を深め、また環境・人づくりに工夫を重ねてこられた姿に感銘するばかりです。そのような中で、私のようなものが、こうした実績をどこまで受け継いで維持し、さらに発展できるのか、今のところまったく自信がありません。

活動というのはあくまでもボラ

ンテアで、労多くして報われぬことも多々あります。しかも、皆さんそれぞれ仕事を持っておられ、時間と労力にはおのずと限界があります。これからの二年間、皆様のご助力と、地区の育成会の方々のご協力を是非ともお願いを申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

●退任あいさつ

温かい見守り 中山 保

在任中のご指導、ご声援をいただき感謝申し上げます。歴代会長さんの人柄と、役員さん達の支えがあつて役職を果たすことができました。

今、時代は想像も出来ない速さで変化しています。子どもを取り巻く環境は時代とともに変化し、情報源がテレビや携帯電話、インターネットなど多岐にわたっています。昭和五十年代前半は爆発的な子どもの増加、単位地少協も驚異的な数でした。学校が選ばれる時代になりました。でも子ども会が学校と保護者と地域とが温かく見守り育てるものではないでしょうか。

小生の想い出は、子どもフェス

【退任役員・常任理事】

- 会計監事 中山 保
  - 会計監事 小山 久雄
  - 第五地少協 堀切 弥生
  - 中川地少協 小久保 隆
- 【新任常任理事】
- 第五地少協 中田 哲郎
  - 中川地少協 寶田 信夫

テイバル、二泊三日の野外自然体験教室（長野県飯山市）などが走馬灯のように思い出されます。

末筆ながら少連協のますますの発展と会員皆様のご多幸をご祈念申し上げます。退任の言葉といたします。

●退任あいさつ

退任にあたって 堀切弥生

「足立区組織の沿革」という小冊子があります。その昭和四十年には、西新井地区では保育園四園、小学校三校開設、公団住宅二団地、都営住宅六か所建設。そして、人口五十万人突破などと載っています。もちろん、少年団体連合協議会発足も、前後も含めて、どんな時期だったかが容易に想像できません。

平成二十三年度 『がんばる地少協』事業助成一覧

- 第四 第2回ドッチビー大会
- 第十一 スキルアップ研修会 (野外炊事)
- 中川 ドッチビー大会
- 第十四 子どもワールド
- 蒲原 ドッチビー・ゲーム大会
- 新田 上野に行つて恐竜と出会い、パンダと遊ぼう
- 保塚 収穫体験「おいしい給食を訪ねて」

私は、この年度から第五地少協に関わってまいりました。当初から、目的は「青少年の健全育成」です。私なりに、目的達成のための事業は「指導者の育成」と教わり、そして思い込み、今ようやく成し得たという達成感があります。また、各行事には実行委員会を設けて、企画・運営を行う体制にしたことも大きな成果と自負できます。ふりかえれば、地域、子どもたちとともに、充実した四十五年間でした。

少連協のますますのご発展を願つてやみません。ありがとうございました。

# 地域の絆を深めよう 子ども会育成者セミナー

七月三日(日) 足立区役所庁舎ホールにおいて、子ども会育成者セミナーが開催されました。

今年度は、東京学芸大学教授の松田恵示先生をお招きし、基調講演をしていただいた後、移動を伴うグループディスカッションという、いままでにはないセミナーの進行形式でした。

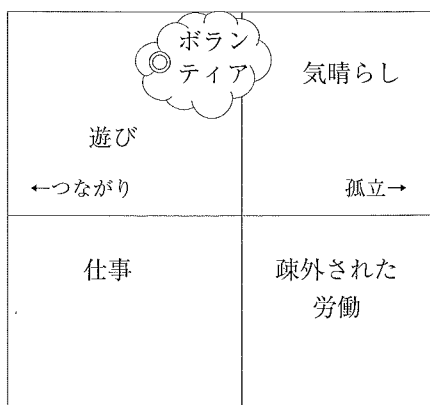
未曾有の震災後、地域としてかわる子ども会が、また、子ども会にたずさわる我々が、何をすべきかを探求するひとときでもありました。



▲松田恵示学芸大学教授の基調講演

## 子ども会活動の意味

昨年度の村上長彦青少年センター青少年教育担当係長の講演では「家庭、学校では、形成されない多様な人間関係育成の場」としての重要性があげられました。今回の講演では、さらに立場・物の見かたにより正解が一つにならないこと。人と人を繋ぐものの見かたを柔軟にし、子どもが、経験を通して築いた自分の世界を地域・学校・遊び・伝統にふれることにより無限に広げてあげられることなど、大人にとっての子ども会活動の役割、子ども会活動の意味まで掘り下げた講演でした。「遊び」という言葉の意味、イメージ



▲グループディスカッション

ージより、遊びを指導する三条件、①間、②動き、③遊戯関係(安心感)が自分の安定を求めるため、他者の反応を必要とする。「つながり」が不可欠になる。他者と自己が織り成す一つの世界を形成していく。大人にとって子どもは、他者であり、子どもとのかかわりは、大人を「外の世界」に案内してくれる。

子どもにとっての大人は、世界の住人であり、指導者である、という興味深いお話でした。

第二部は、移動を伴うグループディスカッションでした。最初は、

育成者になったきっかけ・動機を発表。グループチャップルで、地域を抱えている問題点を発表。さらにチャップルで、解決策を討議。自分達の問題も、第三者感覚で討議することで多くの発見があったようです。

以下、ディスカッション内容の一部を掲載します。

問 (問題点を問、解決策を解と記載)

問 活動全部に親が参加できない。解 お互い様という気持ちを持って、出来る時に出来る範囲での活動でよいのではないか。

問 役員会の時に子どもに留守番をさせるのは…。





▲常任理事会でお披露目をする今井江南地少協会長(右)と野辺少連協会長(左)

### 全国子ども会連合会表彰 受賞

リバーズチルドレンクラブ (江南地少協)

去る七月二十七日より三十一日まで行われた全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会(静岡県御殿場市)において、江南地少協のリバーズチルドレンクラブ(代表・石井なつみ)が、永年の活動と充実した活動内容が認められ表彰を受けました。

これからもこの受賞を糧に、リーダーとしての活動にさらに磨きをかけていただきたいと思います。

**解** 子どものための活動なので、子どもを連れて参加、親の後ろ姿をみてもらう。  
**問** 後継者が育たない。  
**解** 後援者として子ども会育成会OB・OGに参加してもらう。  
**問** 加入する子どもが減少。  
**解** 学校側に協力を依頼。

**問** 子どもが少ないために役員になり手がいない。学校役員より活動頻度が高いのに認知されていない。  
**解** 学校、PTAと地域の話し合いで同等に扱ってもらうよう呼び掛けをする。  
**問** 災害があり、地域の重要性を

感じているが、学校選択、個人情報保護法などがあり、地域に誰が住んでいるのかわからない。昼間の災害時こそ、地元にいるお母さんが重要なはずなのに。  
**解** 行政、町会などと連携し、住んでいる人すべてを網羅する名簿の割出し、名簿管理などの危機管



▲地域の絆を深めるための活発な討論

理と、常に見回れる(声かけ)地域の絆の再編が必要。  
**問** 町会費補助の観点から、町会外の子どもの加入をばまれてしまう。  
**解** 町会に子どものために理解を求めろ。

**問** 学区制がないため、加入の誘いが難しい。また、習い事、野球、サッカーなどと子ども会行事が重なっていることが多い。  
**解** 今、少連協では、入学式に子ども会リーフレットを配布しはじめた。学校と連携し、配布だけではなく、保護者会などに説明に足を運ぶ。また、サッカー、野球に関しては、少連協の組織の中に入っている団体なので、協議をして、子ども会活動優先の日を作ってはどうか。

グループディスカッションは、時間が足りないぐらい、各グループとも盛り上がっていました。  
 地域の絆を深めるため、少連協配布の子ども会加入のリーフレットの活用、そして行政の災害時における危機管理の徹底、住民への周知を望みます。

# 意識力を高めていき、想い描いていることを実現していく

ジュニアリーダー講座・スキルアップ講座講師 別府謙次

講座に集まってくる一人一人は、講座を体験していく中で「次はいつたい何が起ころんだろう」と、わくわくする想いが大きく育ち始めていきます。「もつともつと頑張りたい」「どこまで出来るんだろう」と大切な想いをとても強く感じます。

講座に集まってくる一人一人は、講座を体験していく中で「次はいつたい何が起ころんだろう」と、わくわくする想いが大きく育ち始めていきます。「もつともつと頑張りたい」「どこまで出来るんだろう」と大切な想いをとても強く感じます。

オープニングは身体と身近にあるアイテムを徹底的にフル活用して、コミュニケーション力をUPしていきます。次から次へと体験が移り変わり、自らの目標を掲げていつてはチャレンジを繰り返して、ミーティングを行い「今この瞬間に、僕は私は、ジュニアリーダーとして何が出来るのだろうか」と自己に問いかけていく、一人一人の表情はとても真剣に輝いていきます。集中力が強まっていき、目標達成を手にしていく体験を通して「出来る意識創り」へとつながっていきます。

ご家族や地域の皆様に温かく見守られている環境下に於いて「出来る」想いと共に、ジュニアリーダー講座に集まった友達とチャレ

ンジを繰り返して、次から次へと達成していく光景はとても大きなエネルギーと同時に感動を呼び起こします。

私が担当する会場には、高校生や大学生がスタッフとして手伝いに来てくれています。受講生と学生の大切な想いが徐々に一致していくストーリーは見事です。最初は空回りばかりの学生スタッフですが、ミーティングを重ねて「私が出来ること」と真剣に意識を高めていく、受講生と共に同じ位置で経験値を高めていることで、受講生以上に大切な出来事を学んでいきます。この大切な出来事は学生達の人生観に大きな影響をもたらしています。

ジュニアリーダー講座はトータル九時間のプログラムです。この経験値は日常生活に於いて、リーダーシップを発揮できるベースに繋がることと信じて実施しています。講座を修了したジュニアリーダー達が地域にて、大活躍する場を創りだしていくプログラムとしてのスキルアップ講座では、各種専

門的な知識も勉強して地域でより大きなスポットを浴びてくれると信じています。

ジュニアリーダー講座・スキルアップ講座を通して一人一人の生徒達が、学校・地域・家庭で自らの想いを実践して大切な夢の目標達成に役立ててほしいと考えています。

輝かしい可能性を秘めているジュニアリーダー一人一人との大切な出逢いは、私自身にとっても大きな影響をもたらしてくれています。大きな感謝を込めてありがとうございます。

## ワクワクあそび塾 宿泊キャンプ

平成二十三年度ワクワクあそび塾宿泊キャンプは、夏休みを利用して、自然の中でしか体験できないプログラムや新しい友達との出会いなど、楽しい研修を目指した。

参加者 八十九名  
協力者 五十一名  
日程 八月九日～十二日



▲出発前のお話を真剣に聞く参加者

場所 国立赤城青少年交流の家

キャンプ参加者アンケート

(回答数四十七件)

- 一. 楽しかったですか? 四十六名
- 二. 楽しかったですか? 四十六名
- 三. 楽しかったですか? 四十六名
- 四. 楽しかったですか? 四十六名
- 五. 楽しかったですか? 四十六名
- 六. 楽しかったですか? 四十六名
- 七. 楽しかったですか? 四十六名
- 八. 楽しかったですか? 四十六名
- 九. 楽しかったですか? 四十六名
- 十. 楽しかったですか? 四十六名
- 十一. 楽しかったですか? 四十六名
- 十二. 楽しかったですか? 四十六名
- 十三. 楽しかったですか? 四十六名
- 十四. 楽しかったですか? 四十六名
- 十五. 楽しかったですか? 四十六名
- 十六. 楽しかったですか? 四十六名
- 十七. 楽しかったですか? 四十六名
- 十八. 楽しかったですか? 四十六名
- 十九. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十一. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十二. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十三. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十四. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十五. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十六. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十七. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十八. 楽しかったですか? 四十六名
- 二十九. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十一. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十二. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十三. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十四. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十五. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十六. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十七. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十八. 楽しかったですか? 四十六名
- 三十九. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十一. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十二. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十三. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十四. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十五. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十六. 楽しかったですか? 四十六名
- 四十七. 楽しかったですか? 四十六名

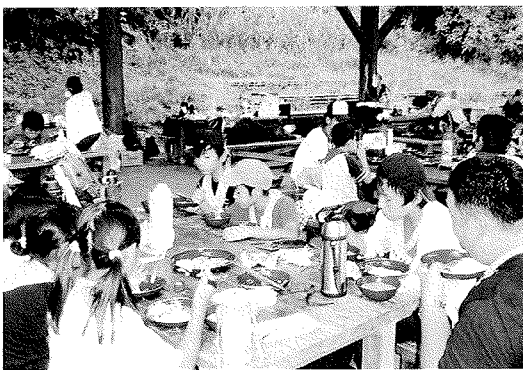
- 山登り……………十一名
- キャンプファイヤー……………十二名
- (オカマダンス……………二名)
- ウォークラリー……………十二名
- アドベンチャー……………五名
- 匂玉……………三名
- 食事……………四名
- 全部楽しかった……………一名
- なかった……………一名
- 未回答……………一名
- 五、おもしろくなかったプログラ  
ムはありましたか？
- なし……………四十四名
- 第二日目のあそび……………一名
- キャンプファイヤー……………一名
- ナイトウォーク……………一名

**三泊四日のキャンプ  
に参加**  
入南中一年  
黒須瑠弥

キャンプ一日目、初めて三泊四日をごすメンバーと対面。すぐきんちようしました。話していくうちにきんちようも溶け、班の人と楽しく話すことが出来ました。国立赤城青少年交流の家のキャンプ場にきました。お昼を食べた後、テントの立て方、かまどのやり方を教えてもらいました。班員と協力し、テントを立てたり、



▲うまく炊けるかな



▲とてもおいしかった

かまどで火をおこすことが出来ました。夕飯はカレーを作りました。ご飯は少しかたかったけれど、他はうまく作ることが出来ました。

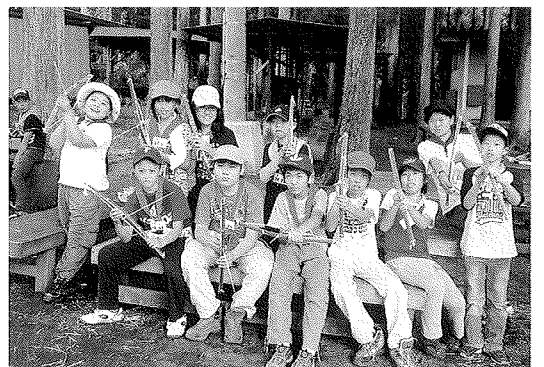


▲頂上はまだまだです



▲ぐっすりお休み

二日目は鍋割山に登りました。頂上への道のりはとても大変でした。頂上へ着いた時はあきらめずに登って良かったと思いました。三日目はネイチャークラフトで、



▲このできばえを見て！

竹の花びんを作りました。時間をかけて上手に作ることが出来ました。夜のキャンプファイヤーでは、歌を歌ったり、おどったりしてとてもおもしろかったです。二日間テントで寝ていたけれど、この日は野じゆくをしました。夜はテントとは違ってすずしく、朝はとても寒かったです。キャンプ最終日はテントをしまいました。朝食を食べ、寄せ書きを書き、バードコールを作りました。昼食を食べ、バス、電車に乗り帰ってきました。とてもつかれたけれど、この三泊四日はとても良い経験でした。また来年も参加したいです。

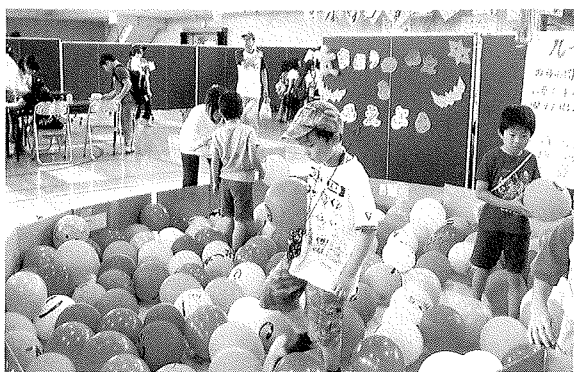
## チャイルドタウン

### フェスティバル

江南地少協 今井 喜代

六月十二日、宮城小学校において、バザー・フリーマーケット、模擬店を開いたり、クラフト・ターゲットボウルなど、子ども達がいろいろな体験が出来るコーナーを大人の力で盛り上げました。体育館が魔法の世界のような空間になるよう、地域ジュニアリーダー「リバーズチルドレンクラブ」の子ども達の力で、一から考え作った遊びコーナーと装飾で盛り上げをみせました。

毎年大盛況のこの行事には、未



▲チャイルドタウンフェスティバル

就学児の小さい子からお年寄りまで足を運んでいただき、楽しんでもらっています。

## スキルアップ野外研修会

第十一地少協 大林 英夫

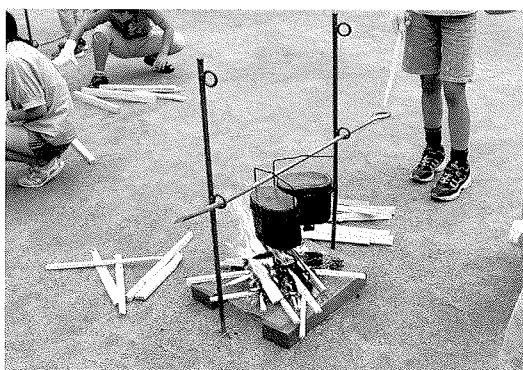
今回は、前回の、飯ごう炊さんに対して、以下の目標を持って、子ども達に、研修をさせました。

- 一、刃物(包丁、ナタ)を使用する危険性の自覚。
- 二、使用する道具、材料(食材以外)は、リユースする。
- 三、共同作業の実施。

この三点を重要課題にして、スキルアップ野外研修を行いました。ほとんどの子どもが、包丁は手にしたことがあるが、ナタを用いて、薪を小割にする作業は、見守る役員が、子ども達よりどきどきしていました。

ここでも、バーチャル的でなく、失敗したら、痛い思いをするぞとの、体験をしてくれたと思います。かまどは、弘道第一小の体育倉庫の鉄ピン、レンガを上手く利用して、作成しました。

そして、参加者全員の協力、協調、共同作業で美味しいカレーライスをいただくことが出来、ほっ



▲スキルアップ野外研修会

としています。

また、梅雨の最中でしたが、天候に恵まれ、無事に研修会が行われました。

先生、役員の皆様、大変お世話になりました。

## 文集「つづく」

第六地少協 高橋キク子

秋風が吹く頃から、文集「つづく」の作成が始まります。

役員と育成者の皆様の頑張りで、子ども達に作文を書いてもらうようう各家庭にお願いに行きます。

六年生の作文が多く、小学校への愛着がほとばしるように、ジュニアリーダー、日光、鋸南などが書かれています。

今までは、小学校の印刷室を借りての手作業の製本でしたが、今年度は「がんばる地少協」の助成金で業者に委託をすることが出来ました。

二十二年度は百七十部製本し、育成者、町会長、地区小・中学校、少連協の皆様配布させていただきました。

二十三年度は、過去にジュニアリーダー研修会で学んだ子どもが助手となり、研修会を盛り上げてくれました。

このような明るい話題をもとに35号発行にむけ頑張っていきたいと思えます。

## 編集後記

調広部長となり、初めて少連協ニュースの発行に携わりました。

たくさんの方々大変なご迷惑をおかけしましたが、皆様方の協力のおかげで発行までこぎつけることができました。

調査広報部員一同、次号発行に向けて一生懸命頑張っていきたいと思えます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

(市川元一)